

グレートブリテン及び北アイルランド連合王国

中島 淳貴

●研修参加の動機

「イギリスに行きたい！！」

という気持ちに駆り立てられ、もともとヨーロッパへ行きたいという強い願望を持っていた私は、これしかない！と思い、申し込んだ。もちろん、ただ行きたかった訳ではない。私は英語が好きだ。自分の得意教科でもある英語が、どれほどイギリスというほとんど英語でしかコミュニケーションが取れない国で通用するのかを試したかった、という目的もあった。

●研修の内容

今回の研修を日程ごとに振り返ろうと思う。

～1日目～

飛行機で11時間半をかけて憧れの地、イギリスへと到着した。ヒースロー空港からオックスフォードへと向かうバスから見える景色は日本とは一味違って、思わず見入ってしまった。寮へと到着した後、現地の学生3人とともにオックスフォードの街を見て回ってから、夕食を食べた。時差のせいも、とても長い1日だった。

～2日目～

クリス先生による、初めてのレクチャーがあった。とても愉快的な方で、楽しく英語を学ぶことができた。オックスフォード大学の概要を別の先生に教えてもらい、その後、ウェルカムティーを楽しんだ。この日は、ロンドン大学で研究をしている紅林氏の講義も受け、貴重な話を聞いた。また、食堂で初めて自分から学生に話しかけたが、まだ慣れず、戸惑ってしまった。



「溜息の橋」

～3日目～

ケンブリッジ大学のサイエンス・フェスティバルに行った。オックスフォードとはまた違った感じで、散策していて面白かった。街の中心部にある教会から見たケンブリッジの景色はとてもきれいだった。クリス先生のレクチャーでは、イギリスの教育について、考えることができた。



左) ケンブリッジ大学、キングス・カレッジ

～4日目～

オックスフォードを散策した。いくつかの博物館を見て回ることもできた。オックスフォード大学に通っている外国の方々とディスカッションをした。日本の方もいて、様々な経験談を聞いた。日本でも活躍をされている岡本氏の講義を受けた。自分の考えをとても深めてくれた話だった。この日もまた、

クリス先生が私たちにレクチャーをしてくれた。

～5日目～

この日は、4つの班に分かれてプレゼンテーションをした。私たちの班は、「駅伝」について発表した。時間が限られている中で準備と練習をしたのだが、自分たちなりに発表をすることができた。日本独自のスポーツということで、説明が難しかったが、自分たちの持つ英語力で堂々と発表することができた。少しは人前で緊張せずに話せるようになったと、自分の中では思っている。他の班のプレゼンも魅力的だった。プレゼンを終え、再びオックスフォードの街を、お土産を買うためにぶらぶらした。

～6日目～

今までお世話になったオックスフォード生と別れ、ロンドンへと向かった。科学博物館では、蒸気機関の展示や、自然史博物館では、恐竜の化石はもちろんのこと、膨大な数の展示物に圧倒された。大英博物館は一度私が行って見たかった場所なので、ロゼッタストーンなどの有名な展示物が見られて感動した。他にも、バッキンガム宮殿や、工事中のビックベンも見ることができた。ロンドン大学では、2人の日本人学生の方に大学を案内してもらい、その後夕食もともに食べた。新しい学問について話したりもした。一度行って見たかった街なので、1日中興奮が止まらなかった。



～7日目～

帰国の途に着いた。イギリスを離れると思うと、少し寂しい気持ちもあったが、同時に達成感も感じていた。8日目は、もう日本に着いていたので特に説明はしない。

このようにして、私の充実した8日間（体感としては7日間）は無事に終了した。



ハートフォード・カレッジ

●研修を終えて

今回、「生き様研修」ということで、イギリスに行ってオックスフォード大学の学生や、海外で活躍する日本人の方々の考えを講義や会話を通じて聞くことができた。学生の方と話しているうちに、コミュニケーション能力も付いたと思う。私にとってはどれも印象的な話で、海外で実際に活躍した人ならではの経験談を聞いた。これくらいなら、日本でも聞けると思う人もいるだろう。だがしかし、オックスフォード生の実際の努力や経験はここでしか聞けない。だから是非、参加すべきだと私は思う。これからこの研修に行きたいと思っている人は、**迷わず参加しよう！**

私から言えることは以上だ。